

## 税を追う 取材班から

「現場は、望んでいなかったよね。オスプレイは高いから」。米軍の輸送機オスプレイについて、陸上自衛隊では導入に反対する声が強かったと、複数の自衛官OBから聞いた。

「現場は、望んでいなかったよね。オスプレイは高いから」。米軍の輸送機オスプレイについて、陸上自衛隊では導入に反対する声が強かったと、複数の自衛官OBから聞いた。

「現場は、望んでいなかったよね。オスプレイは高いから」。米軍の輸送機オスプレイについて、陸上自衛隊では導入に反対する声が強かったと、複数の自衛官OBから聞いた。

「現場は、望んでいなかったよね。オスプレイは高いから」。米軍の輸送機オスプレイについて、陸上自衛隊では導入に反対する声が強かったと、複数の自衛官OBから聞いた。

## 高過ぎるオスプレイ

百億円以上かけて購入する。それ以上に驚かされるのが維持整備費だ。二十一年間で四千四百億円近く。いったん導入すれば、他の防衛装備品の整備に大きなしわ寄せが来る。「誰が入れたんだこんなのと、みんな言っていた」とOBは明かす。安倍政権はFMSで次々と、アメリカ生まれの高額な兵器を輸入している。だが、当然ながらこれらの兵器は、日々の整備がなければ動かなくなる。

防衛装備品のローン残高（後年度負担）が五兆円を超え、既に米国製以外の国産品などの整備は滞り始めている。そんな中で、現場の優先度が低い兵器を買う余裕はあるのか。別のOBはこう言った。「装備品の購入と維持整備のバランスを考えなければならぬのに、今は装備品を買いすぎだ」

（鷲野史彦）